

事務事業評価シート（評価実施年度：平成27年度）

上位の施策名称 施策Ⅲ-4-5 環境保全の推進

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長 環境政策課長 湊 直樹 電話番号 0852-22-5345

事務事業の名称	環境保全活動支援事業費	
目的	(1) 対象	県民
	(2) 意図	環境保全活動に対する県民の関心を高め、多くの主体が環境保全活動に参加できるよう、情報の提供や活動への支援を行うことにより、環境の保全を図る。
事業概要	島根県環境基本計画のテーマである「豊かな環境を守り、はぐくみ、持続的に発展する島根」を実現するため、（公財）しまね自然と環境財団を通じて、環境保全活動に関する助成・支援、普及啓発等を行う。	

2. 成果参考指標

(1) 成果参考指標	指標名	環境保全を活動分野とするNPO法人数	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	単位
			目標値		105.00	110.00	115.00	120.00	
式・定義	環境保全を活動分野とするNPO法人数	実績値	103.00	109.00	115.00	114.00		法人	
		達成率		103.80	104.50	99.20		%	
指標名			年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	単位
			目標値		0.00	0.00			
式・定義			実績値	0.00	0.00	0.00			
			達成率		0.00	0.00			%

3. 事業費

	26年度実績	27年度計画
事業費(b) (千円)	27,310	30,156
うち一般財源(千円)	22,060	22,698

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	②改善策を実施した（実施予定、一部実施含む）
---------------------	------------------------

5. 評価時点での現状（客観的事実・データなどに基づいた現状）

平成26年度の環境保全を活動分野とするNPO法人数は114で、最近5年間の平均（99）を上回っている。

6. 成果があったこと（改善されたこと）

・環境保全や社会貢献への関心の高まりを背景に、環境保全を活動分野とするNPO法人数は、増加傾向（H21 80→ H26 114）

7. まだ残っている課題（現状の何をどのように変更する必要があるのか）

①困っている「状況」

・環境保全活動助成金の申請件数が伸び悩んでいる。

②困っている状況が発生している「原因」

・助成金の使い勝手が悪い
・申請者から、「申請書の記入の仕方がよくわからない。」との意見

③原因を解消するための「課題」

・助成金の使いやすさ
・企画書の記入のしやすさ

8. 今後の方向性（課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方）

・法人コースとボランティアコースの2つのコースに分けて、助成内容を見直し（H26実施済み）
・助成金の申請の手引きを作成（H26実施済み）
・「申請書の書き方」の説明会の開催（H27実施済み）
・（公財）しまね自然と環境財団と連携して、時代のニーズにあった助成金制度の見直し
・助成金制度の積極的なPR

◎課（室）内で事務事業評価の議論を行うにあたっては、本評価シートのほか、必要に応じて、「予算執行の実績並びに主要施策の成果」や既存の事業説明資料などを活用し、効率的・効果的に行ってください。

◎上記「5. 評価時点での現状」、「6. 成果があったこと」、「7. まだ残っている課題」、及び「8. 今後の方向性」について、議論がしやすいように、「5. 評価時点での現状」→「6. 成果があったこと」、又は「5. 評価時点での現状」→「7. まだ残っている課題」→「8. 今後の方向性」が一連の流れとなるよう、わかりやすく、ストーリー性のあるシート作成に努めてください。

9. 追加評価（任意記載）